

2020 年 10 月 13 日

通貨ニュース

インド：10 月金融政策会合～政策金利の現状維持と経済見通しを更新

インド準備銀行（中央銀行、RBI）は 7～9 日、金融政策委員会（MPC）を開催し、政策金利のレポレートを全会一致もとで前回会合に続いて据え置き、4.00%とすることを決定した（図表 1）。RBI は今年既に累計 1.15%pts の利下げを実施していた。また、リバースレポレートも 3.35%の現状維持となった。ブルームバーグの事前予想では 32 人の市場関係者全員が現状維持を見込んでいた。なお、今回会合は当初 10 月 1 日に開催予定であったが、ボードメンバーの任命に関連して開催が延期されていた。

声明文および会合後のダス RBI 総裁の会見によれば、世界経済が回復に向かうに連れて、国内経済に関しても底打ちが確認できているとした。今後新型コロナウイルス感染拡大のリスクは依然大きいものの、都市部の経済活動の正常化や農村部での安定的な穀物生産が期待される状況であり、国内経済は引き続き回復に向かうとの見解を示した。

金融政策の方針としては、流通市場での国債購入の継続や金融機関の融資の枠組みを見直すことで、企業や個人への資金繰り支援を継続する方針を示した。その上で足許の物価動向に鑑みながら、必要に応じて金融緩和を実施していく姿勢を示した。

物価動向について、9 月 CPI は前年比+7.3%となっており、食料品価格の高騰を背景に RBI のインフレ目標である同+2.0%～+6.0%を上回る水準で推移している（図表 2）。今回公表された見通しによれば、インフレ率が目標の範囲に収まるのは早くとも 21 年の 1～3 月期としており、そこまでは政策金利の引き下げに慎重となる可能性が高そうだ。RBI は過去にも高止まりする物価水準の影響により利下げを見送った経緯があり、利下げ余地を残している状況であると見られる。インドではピークは過ぎたものの依然新型コロナウイルスの拡大抑制に苦慮していることから、今回の決定は今後感染の第 2 波、第 3 波が到来した場合に備えカードを残す思惑も窺える。

経済成長に関して、RBI は今年度の成長率が前年比▲9.5%となる見通しを示した。4～6 月期 GDP は過去最悪の同▲23.9%を記録していたが、農村部での景気回復が当初想定よりも速いペースで期待できることを踏まえて、21 年 1～3 月期には前年比でプラスへの回復を予想している。

INR の動向に関しては、国内の新型コロナウイルスの感染拡大が深刻ながらも、じりじりと値を上げる状況となっている（図表 3）。その要因として、貿易収支の赤字幅が縮小傾向にあるほか（図表 4）、景況感の回復に伴って国内株価が上昇し、海外勢からの資金流入が続いている点が INR の実需を支えている。また、RBI は 8 月末以降、INR 高を容認する姿勢をとっており、INR 安方向に動きづらくなったことも考えられる。

市場営業部

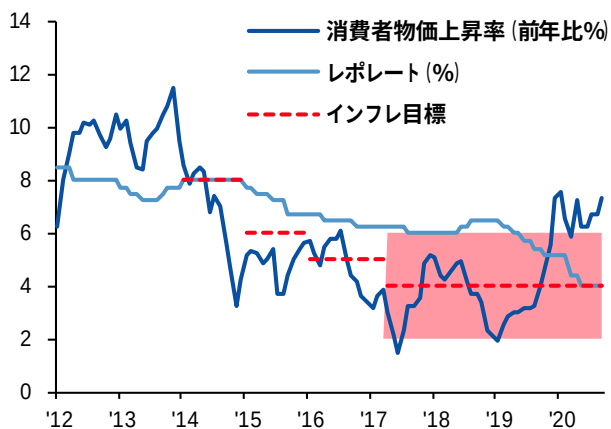
マーケット・エコノミスト

堀 堯大

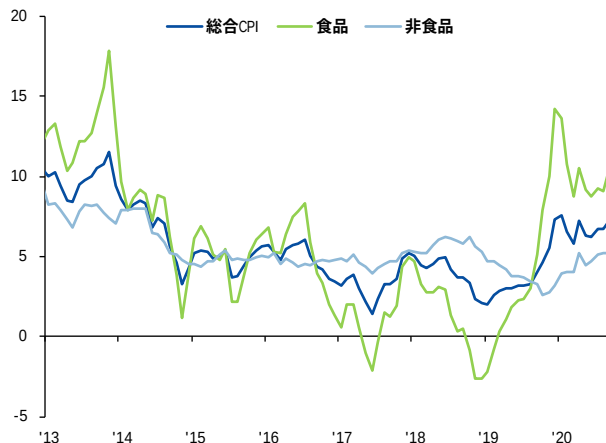
03-3242-7065

takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

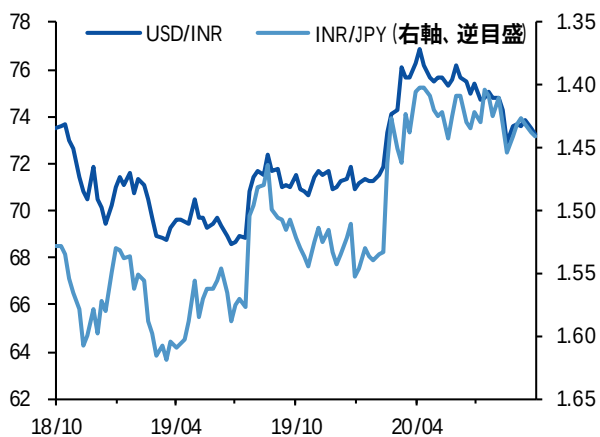
今後は国内で豆類をはじめ農作物の収穫期を迎える。RBI は上述の通りやや楽観的な見方をしているが、国内の物価推移と農村部の景気回復に直結するイベントであるため、INR の実需動向と同様に注視したい。一方、ドル側の要因では大統領選と追加経済政策の動向が大きく、特に追加経済政策は交渉が一進一退となっているが合意に向かう場合には新興国通貨全体にとって追い風になることを想定する。

図表 1: 政策金利とインフレ目標


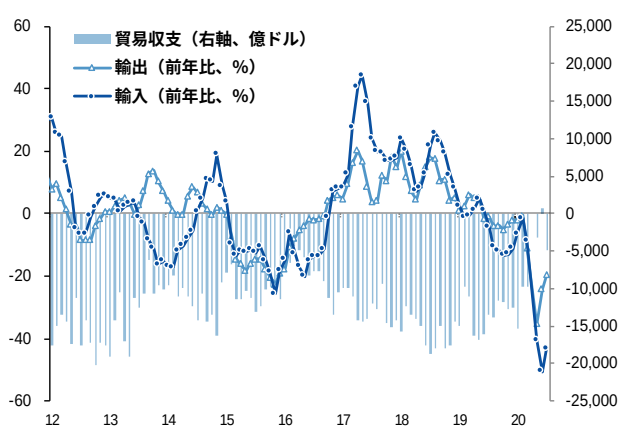
出所: Bloomberg, CEIC, みずほ銀行
注: 赤枠はインフレ目標のレンジ

図表 2: 消費者物価指数の動向 (前年比, %)


出所: インド中央統計局, CEIC, みずほ銀行

図表 3: INR 為替動向 (対ドル, 対円)


出所: ブルームバーグ, みずほ銀行

図表 4: 貿易収支動向


出所: インド準備銀行, インド商工省, CEIC, みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。